

特集

道民の熱意で建設 「北海道百年記念塔」 シナリオは誰

されたはずなのに… 「記念塔」解体の シナリオは誰が書いたのか

●レポート 黒田 伸
(フリー・ジャーナリスト)



本誌の1969(昭和44)年1月号表紙は
翌年竣工予定の「百年記念塔」で飾った
(説明には「500万道民の熱意で建設される」としている)

老朽化を理由に秋にも解体工事が始まる
うとしている北海道百年記念塔(札幌市厚
別区)。ここに来て解体を決めた道の決定や、
解体を認めた道議会に対してさまざまな疑
問の声が上がっている。6月下旬には札幌の
市民団体が「記念塔保全」を訴えるパネル展
などを開催する。

「北海 道のシンボルを壊すな」

「50年も愛され続けた
北海道のシンボルを壊
さないで欲しい。道民
の誰もが本当は壊さず
にこのまま存続するこ
とを願っているのです
から」

パネル展を開催する
「北海道を考える会」
(北考会)の役員は語
気を強める。
「北海道百年記念塔保
全」パネル展は、6月
27日と28日の2日間



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)